

単元名 きせつの言葉1

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。
 (2) 経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。
 (3) 語句の量を増やし、春らしさを表現したを書こうとする。

標準的な展開例

03010107_001

【教材名】春のくらし (上 P. 36～P. 37)

【準備等】国語辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 春の行事に関わる言葉を探す。 ★「春」から思い浮かぶ言葉を集めよう。 ○「みどり」を朗読し、感じたことを話し合う。</p> <p>○校庭や地域に出て、生活の中で春を感じるものを探す。</p> <p>○教科書の言葉から知っているものを発表したり、連想する言葉を出し合ったりする。</p> <p>2 春を感じたものについて文章を書く。 ★春を感じたものについて書こう。 ○自分の身の回りで見付けた春を感じたものについて文章を書く。</p> <p>○書いた文章を交流する。</p>	<p>・詩を朗読することで明るい雰囲気を作り、春についての興味をもたせる。</p> <p>・教科書の絵から想像するだけではなく、実際に目で見たり肌で感じたりするなど、五感を働かせて春を感じさせる。</p> <p>【評】春に関する言葉を発表したり、連想したものを出し合ったりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・前時の学習を想起したり、教科書（P. 36）の例を参考にしたりして書かせる。</p> <p>【評】春を感じたものについて書く活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】